

2026年度

HP 掲載用

シラバス

履修と学習の手引き



山形県立霞城学園高等学校 I II III部

# 学園生活宣言

## 創造的学習

個性を磨き，将来を見つめた創造的な学習を展開しよう！

## 自立への意志

自律と協調を心に刻み，社会人としての成熟をめざそう！

## 健全な心身

健康な身体と，たくましい豊かな心や感性をはぐくもう！

## シラバスとは

シラバスとは，各学校の教育活動に関する詳細な計画書の事です。教科・科目をはじめとする様々な教育活動について，目標と内容，使用教材，指導計画，指導方法，評価方法等が掲載されています。学習者にとって，シラバスは履修科目を選択する際の重要な資料であるとともに，「学びのナビゲーター」として，学習者を主体的な学びに導くものでもあります。

## シラバスの語源

英語のシラバス (syllabus) は，ギリシャ語の *sittuba*，すなわち「羊皮紙製の書籍のラベル」，または「表題紙」という意味の言葉を語源とします。

シラバス (syllabus) は単数形の英単語で，和訳する場合は「教授 (講義) 要目」とするのが一般的です。

# 目次

◇ 教育課程表（ⅠⅡⅢ部）	4
◇ Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ部 年次別履修科目表	5～7
◇ 履修順序と履修上の留意点	8～10
◇ 開講科目	11～66
○国語（ <a href="#">現代の国語</a> / <a href="#">言語文化</a> / <a href="#">文学国語</a> / <a href="#">国語表現</a> ）	
○地理歴史（ <a href="#">歴史総合</a> / <a href="#">地理総合</a> / <a href="#">日本史探究</a> / <a href="#">世界史探究</a> / <a href="#">地理探究</a> ）	
○公民（ <a href="#">公共</a> / <a href="#">政治・経済</a> ）	
○数学（ <a href="#">数学Ⅰ</a> / <a href="#">数学Ⅱ</a> / <a href="#">数学Ⅲ</a> / <a href="#">数学A</a> / <a href="#">数学B</a> / <a href="#">数学C</a> ）	
○理科（ <a href="#">科学と人間生活</a> / <a href="#">物理基礎</a> / <a href="#">化学基礎</a> / <a href="#">生物基礎</a> / <a href="#">物理</a> / <a href="#">化学</a> / <a href="#">生物</a> ）	
○保健体育（ <a href="#">体育①</a> / <a href="#">体育②</a> / <a href="#">体育③</a> / <a href="#">体育④</a> / <a href="#">保健①</a> / <a href="#">保健②</a> ）	
○芸術（ <a href="#">音楽Ⅰ</a> / <a href="#">音楽Ⅱ</a> / <a href="#">美術Ⅰ</a> / <a href="#">美術Ⅱ</a> / <a href="#">書道Ⅰ</a> / <a href="#">書道Ⅱ</a> ）	
○外国語（ <a href="#">英語コミュニケーションⅠ</a> / <a href="#">英語コミュニケーションⅡ</a> / <a href="#">英語コミュニケーションⅢ</a> / <a href="#">論理・表現Ⅰ</a> / <a href="#">論理・表現Ⅱ</a> ）	
○家庭（ <a href="#">家庭総合①</a> / <a href="#">家庭総合②</a> / <a href="#">保育基礎</a> / <a href="#">フードデザイン</a> ）	
○情報（ <a href="#">情報Ⅰ</a> / <a href="#">情報の表現と管理</a> ）	
○商業（ <a href="#">ビジネス基礎</a> / <a href="#">課題研究</a> / <a href="#">ビジネス・コミュニケーション</a> / <a href="#">マーケティング</a> / <a href="#">簿記</a> / <a href="#">情報処理</a> / <a href="#">情報処理①</a> / <a href="#">情報処理②</a> ）	
○総合的な探究の時間	
○特別活動	

# 山形県立霞城学園高等学校教育課程表

## I・II・III部

教科	科目	標準 単位数	単位数			履修区分	備考
			I	II	III		
国語	現代の国語	2	3	3	3	◎	
	言語文化	2	2	2	4	◎	
	文学国語	4	4	4		○	現代の国語、言語文化を履修後に履修
	国語表現	4	2	2	2		
地理歴史	地理総合	2	2	2	2	◎	
	地理探究	3	3	3		○	地理総合を履修後に履修
	歴史総合	2	2	2	2	◎	
	日本史探究	3	3	3	3	○	歴史総合を履修後に履修
	世界史探究	3	3	3		○	歴史総合を履修後に履修
公民	公共	2	2	2	2	◎	
	政治・経済	2	3	3	3	○	公共を履修後に履修
数学	数学I	3	4	4	4	◎	
	数学II	4	4	4		○	数学Iを履修後に履修
	数学III	3	4			○	数学IIを履修後に履修
	数学A	2	2	2	2	○	数学Iと同時に履修する場合は履修後に履修
	数学B	2		3		○	数学Iを履修後に履修
	数学C	2	3			○	数学Iを履修後に履修
理科	科学と人間生活	2	2	2	2	◎	
	物理基礎	2	2	2		※	I科目 必履修
	物理	4		4		○	
	化学基礎	2	2	2	3	※	
	化学	4		4		○	
	生物基礎	2	2	2	3	※	物理・化学・生物はそれぞれの基礎の付された科目を履修後に履修
	生物	4		4		○	

教科	科目	標準 単位数	単位数			履修区分	備考
			I	II	III		
保健 体育	体育	7~8	8, 10	8, 10	8, 10	◎	
	保健	2	2	2	2	◎	
芸術	音楽I	2	2	2	2	※	I科目 必履修  IIを付した科目は 同じ名称を含む Iを付した科目を 履修後に履修
	音楽II	2	2	2	2	○	
	美術I	2	2	2	2	※	
	美術II	2	2	2	2	○	
	書道I	2	2	2	2	※	
	書道II	2	2	2	2	○	
外国語	英語コミュニケーションI	3	4	4	4	◎	
	英語コミュニケーションII	4	4	4	4	○	英語コミュニケーションIを履修後に履修
	英語コミュニケーションIII	4	4			○	英語コミュニケーションIIを履修後に履修
	論理・表現I	2	2	2	2		
	論理・表現II	2	3	3			論理・表現Iを履修後に履修
家庭	家庭総合	4	4	4	4	◎	
情報	情報I	2	2	2	2	◎	
商業	ビジネス基礎	2~4		2	3	○	簿記・情報処理の1つ又は2つを履修後に履修
	課題研究	2~4			3		
	ビジネス・コミュニケーション	2~4		2			
	マーケティング	2~4			3		
	簿記	2~6		4	3		
家庭	情報処理	2~6	3,5	3	4		
	保育基礎	2~6		3	3	○	
情報	フードデザイン	2~6	3			○	
	情報の表現と管理	2~4		2		○	
総合的な探究の時間		3~6	3, 4	3, 4	3, 4	◎	別途計画表による
特別 活動	ホームルーム活動	週1単位時間				各部・各年次	
	生徒会活動	別記				別途計画表による	
学校行事		別記				別途計画表による	

1. 表中の「履修区分」は、下記による。

卒業までに修得すべき単位数＝74単位

- ◎＝必履修
- ※＝選択必履修
- ＝自由選択科目

2. 年次別（修得単位の区分による）開設科目・併修科目は、  
次ページからの「年次別履修科目」による。

授業の1単位時間
45分

# I 部 年次別履修科目表

単位	I 年次相当履修科目	2 年次相当履修科目	3 年次相当履修科目	4 年次相当履修科目				
1	現代の国語	言語文化	日本史探究	世界史探究				
2								
3								
4	公共	歴史総合	地理総合	地理探究				
5								
6		数学 I	数学 II	英語コミュニケーション II	政治・経済			
7								
8								
9	科学と人間生活	物理基礎	化学基礎	生物基礎	数学 A			
10								
11		「体育」②	論理・表現 I	数学 C	情報処理①	論理・表現 II	「体育」④	
12								
13	「体育」①	「保健」②	「体育」③			音楽 II	美術 II	書道 II
14								
15	「保健」①	「家庭総合」①	音楽 I	美術 I	書道 I	情報処理②		
16	英語コミュニケーション I	情報 I	「家庭総合」②			フードデザイン		
17								
18								
19	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間			総合的な探究の時間		
20								
	ホームルーム活動	ホームルーム活動	ホームルーム活動			ホームルーム活動		

どちらかのコースを選択



21	数学 II	英語コミュニケーション II	ビジネス基礎	文学国語	簿記	物理	化学	生物	国語表現	
22			ビジネス・コミュニケーション							政治・経済
23	数学 A	物理基礎	化学基礎	生物基礎	日本史探究	世界史探究	音楽 I	美術 I	書道 I	数学 A
24										
25	情報 I	論理・表現 I	音楽 I	美術 I	書道 I	情報処理	数学 B	論理・表現 II	情報と管理の表	
26										
27	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間			総合的な探究の時間				
28										
29	ホームルーム活動	ホームルーム活動	ホームルーム活動			ホームルーム活動				
30										
31	II 部 I 年次～4 年次のいずれかの開設科目から選択可能。 (複数の年次から選択することはできない。)									
32										

- ※ 「 」の科目は年次分割履修の科目であり、原則として科目に付した数字の順序で履修すること。
- ※ 単年度における履修単位数は32単位以内とする。
- ※ 併修はII部開設科目とする。併修科目を複数の年次から選択することはできない。



### Ⅲ部 年次別履修科目表

単位	1年次相当履修科目	2年次相当履修科目	3年次相当履修科目	4年次相当履修科目		
1	現代の国語	「言語文化」①	「言語文化」②	国語表現		
2						
3		地理総合	日本史探究		簿記	
4						公共
5		数学Ⅰ	歴史総合		化学基礎	
6	生物基礎			「体育」③		数学A
7			科学と人間生活		「体育」②	
8	「保健」②			音楽Ⅰ		美術Ⅰ
9			「家庭総合」①		英語 コミュニケーションⅡ	
10	「体育」①	情報Ⅰ		課題研究		マーケティング
11			「保健」①		ビジネス基礎	
12	英語 コミュニケーションⅠ	総合的な探究の時間		総合的な探究の時間		総合的な探究の時間
13			ホームルーム活動		ホームルーム活動	
14		どちらかのコースを選択				
15		数学Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	ビジネス基礎	国語表現	
16						数学A
17	物理基礎	日本史探究	世界史探究	数学A		
18					生物学	音楽Ⅰ
19	化学	情報処理	論理・表現Ⅱ	数学B		
20					生物	情報Ⅰ
21	数学Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	ビジネス基礎	国語表現		
22					数学A	論理・表現Ⅰ
23	物理基礎	日本史探究	世界史探究	数学A		
24					生物学	音楽Ⅰ
25	化学	情報処理	論理・表現Ⅱ	数学B		
26					生物	情報Ⅰ
27	数学Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	ビジネス基礎	国語表現		
28					数学A	論理・表現Ⅰ
29	物理基礎	日本史探究	世界史探究	数学A		
30					生物学	音楽Ⅰ
31	化学	情報処理	論理・表現Ⅱ	数学B		
32					生物	情報Ⅰ

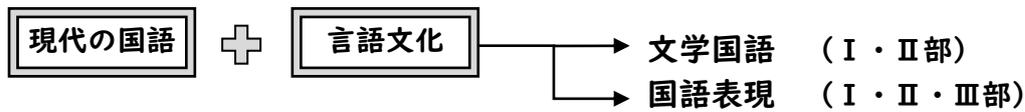
- ※ 「 」の科目は年次分割履修の科目であり、原則として科目に付した数字の順序で履修すること。
- ※ 単年度における履修単位数は32単位以内とする。
- ※ 併修はⅡ部開設科目とする。併修科目を複数の年次から選択することはできない。

## 履修順序と履修上の注意点



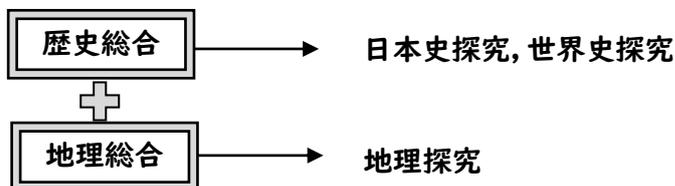
は必修科目

### 〈国 語〉



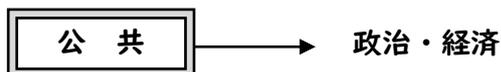
1. 必修科目は「現代の国語」と「言語文化」です。
2. 原則として「現代の国語」と「言語文化」を履修した後、他の科目を履修します。「言語文化」は2年次から履修します。

### 〈地理・歴史〉



1. 必修科目は、「歴史総合」と「地理総合」です。
2. 「日本史探究」、「世界史探究」、「地理探究」が自由選択科目ですが、「歴史総合」、「地理総合」を履修していることが条件です。

### 〈公 民〉



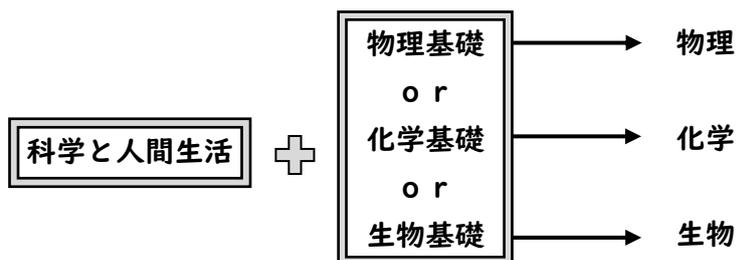
1. 必修科目は「公共」です。
2. 「政治・経済」は自由選択科目ですが、「公共」を履修していることが条件です。

### 〈数 学〉



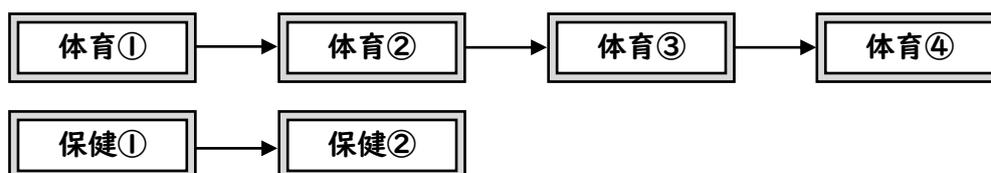
1. 必修科目は「数学I」です。
2. 「数学I」、「数学II」、「数学III」は順番どおり履修します。
3. 「数学A」は、「数学I」と並行あるいは履修した後に履修します。
4. 「数学B」、「数学C」は、「数学I」を履修した後に履修します。

## 〈理 科〉



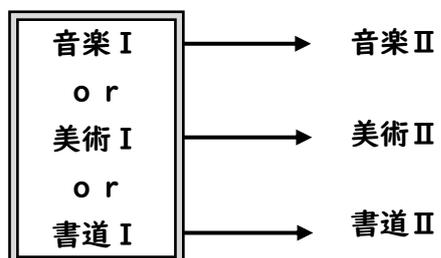
1. 必履修科目は、「科学と人間生活」と、「物理基礎・化学基礎・生物基礎のうちいずれか1科目」の、合わせて2科目です（「科学と人間生活」を履修しなかった場合は、「物理基礎」・「化学基礎」・「生物基礎」の3科目全てを履修することで必履修を満たすこともできます）。
2. 「物理・化学・生物」を履修する場合は、それぞれの基礎を付された科目をすでに履修していることが必要です（基礎を付された科目と同時に履修することはできません）。

## 〈保健体育〉



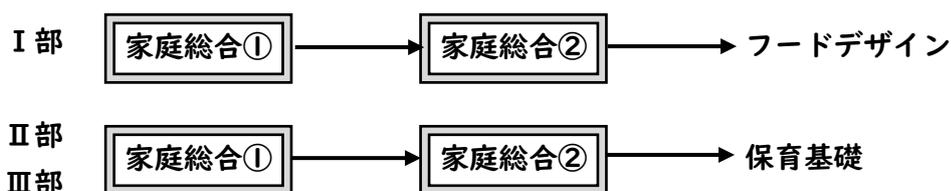
1. 「体育」と「保健」はすべての科目が必履修科目です。
2. 「体育」は各年次継続して履修しますが、三修生のみ「体育①②③」の履修になります。
3. 「保健①」と「保健②」は内容が異なります。

## 〈芸 術〉



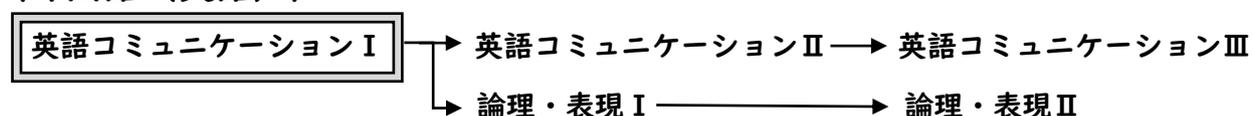
1. 必履修科目は、「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」から1科目の選択です。
2. 「音楽Ⅱ」、「美術Ⅱ」、「書道Ⅱ」の科目を履修するには、その科目のⅠを履修していることが条件です。

## 〈家 庭〉



1. 必履修科目は、「家庭総合①」、「家庭総合②」です。
2. 「家庭総合①」と「家庭総合②」の両方を履修して完成となります。
3. 「家庭総合」を履修した後、「フードデザイン」、「保育基礎」を履修することができます。

## 〈外国語（英語）〉



1. 必履修科目は「英語コミュニケーションⅠ」です。
2. 「英語コミュニケーションⅠ」⇒「英語コミュニケーションⅡ」⇒「英語コミュニケーションⅢ」の順番で履修します。
- 「論理・表現Ⅰ」⇒「論理・表現Ⅱ」の順番で履修します。

## 〈情 報〉



必履修科目は「情報Ⅰ」です。

情報とコンピュータなどの情報機器を活用するための知識と技能を身に付け、情報が社会の中で果たしている役割やルールとマナーと、情報を数値などで科学的に分析する考え方を学びます。

## 〈商 業〉

履修順序は特にありません。

商業の科目は、企業におけるビジネスの諸活動を理解し、地域産業をはじめ経済社会の発展を担う職業人として活躍するために必要な知識や技術を身に付ける学習を行います。

## 開講科目

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
国語	現代の国語	I II III部	I 年次	必履修	3

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指します。論理的な文章や実用的な文章を読むだけでなく書くことや話し合うことを通して、論理的に考える力や深く共感する力、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力を伸ばします。
------	---

**授業計画及び具体的内容** 計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	自己を見つめる 「こそめスープ」 他者に出会う 「未来を作る想像力」 考えよう メディアとの付き合い方
	後半	他者に出会う 「水の東西」 言葉と生活Ⅰ 分かりやすい説明をしよう
後期	前半	視野を広げる 「無彩の色」 社会と関わる 「鍋洗いの日々」
	後半	言葉と生活Ⅱ 新聞記事を読んで意見文を書こう 考えよう 相手に応じた言葉の選び方 未来に目を向ける 「真の自立とは」

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけることができたか。	定期考査 発言・発表作品 (提出物の内容)	読解力 行動力
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	定期考査 発言・発表作品 (提出物の内容)	傾聴力 思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	主体的に取り組むを行おうとしたか。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしたか。	提出物の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

必履修科目です。ここで国語の基礎をしっかりと身につけてください。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
国語	言語文化	I II部	2年次	必履修	2
		III部	2・3年次		4

学習目標	現代文・古文・漢文の三分野から成ります。言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指します。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	現代文編 古文編 古文入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆「さくらさくらさくら」</li> <li>・言語活動</li> </ul>
	後半	現代文編 詩歌 漢文編 漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌・俳句・詩の読み方</li> <li>・言語活動</li> <li>・訓読の基本 故事成語</li> <li>・言語活動</li> </ul>
後期	前半	現代文編 古文編 随筆 詩歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説「羅生門」</li> <li>・言語活動</li> <li>・「徒然草」「枕草子」</li> <li>・言語活動</li> <li>・「万葉集」「古今集」「新古今集」</li> <li>・言語活動</li> </ul>
	後半	漢文編 漢詩 論語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶句と律詩</li> </ul>

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができたか。	定期考査 発言・発表作品 (提出物の内容)	読解力 行動力
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	定期考査 発言・発表作品 (提出物の内容)	傾聴力 思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	主体的に取り組むを行おうとしたか。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしたか。	提出物の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

2年次から履修します。必履修科目です。ここで国語の基礎をしっかりと身につけてください。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
国語	文学国語	I II部	3年次	自由選択	4

学習目標	文学的な文章に触れ、情景の豊かさや心情の機微を表す言葉の特徴や使い方に関する理解を深めます。人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用についても理解を深めます。
------	--

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆「虹の雌雄」</li> <li>・小説「山月記」「鞆」</li> <li>・表現活動</li> </ul>
	後半	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文「源氏物語」</li> <li>・漢文「史記」</li> <li>・海外小説「星の王子さま」</li> <li>・表現活動</li> </ul>
後期	前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説「こころ」</li> <li>・古文「大鏡」「近世俳句」</li> <li>・表現活動</li> </ul>
	後半	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文「桃源郷」</li> <li>・小説「ナガサキの郵便配達」</li> <li>・古文「方丈記」</li> <li>・表現活動</li> </ul>

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができたか。	定期考査 発言・発表作品 (提出物の内容)	読解力 行動力
思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養うことが出来たか。	定期考査 発言・発表作品 (提出物の内容)	傾聴力 思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	主体的に取り組むを行おうとしたか。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしたか。	提出物の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

原則として必履修の「現代の国語」と「言語文化」を履修した後、履修できます。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
国語	国語表現	I II III部	4年次	自由選択	2

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てます。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	第1部 表現力を培う 1 言葉と出会う 2 伝える、伝え合う
	後半	3 小論文・レポート入門 4 自己PRと面接
後期	前半	5 メディアを駆使する 6 会話・議論・発表
	後半	第2部 表現を楽しむ

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにすることができたか。	定期考査 発言・発表作品 (提出物の内容)	読解力 行動力
思考・判断・表現	「書くこと」「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫することができたか。	定期考査 発言・発表作品 (提出物の内容)	傾聴力 思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に粘り強く取り組もうとしたか。	提出物の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

原則として必履修の「現代の国語」と「言語文化」を履修した後、履修できます。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
地理歴史	歴史総合	I II III部	2年次	必履修	2

学習目標	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中における日本を広く相互的な視野からとらえ、資料を活用しながら歴史の学び方を修得し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察、構想する。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	第1章 結びつく世界と日本の開国 第2章 国民国家と明治維新
	後半	第2章 国民国家と明治維新
後期	前半	第3章 総力戦と社会運動 第4章 経済危機と第二次世界大戦
	後半	第III部 グローバル化と私たち

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	社会事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、考察する力、構想する力、議論する力が身に付いているか。	定期考査 提出物 (ノート・課題等) の提出内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	課題を主体的に追究、解決しようとする態度、多面的・多角的な考察と理解が出来ているか。	提出物(ノート・課題等)の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>① 履修登録上の注意…全員履修しなければならない科目です。</p> <p>② 授業への臨み方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や資料に目を通して授業に臨む。</li> <li>・教科書と資料・ノート等を必ず持参して授業に臨む。</li> </ul> <p>③ 学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書等を読み、授業内容を復習する。</li> <li>・疑問点や興味関心を持った点を調べる。</li> <li>・学習プリント等を有効に活用する。</li> </ul>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
地理歴史	地理総合	I II部 III部	3年次 2年次	必履修	2

学習目標	社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けて考える。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	地図や地理情報システム
	後半	国際理解（生活文化の多様性）
後期	前半	国際理解（地球的課題）
	後半	持続可能な地域づくり（防災、地域展望）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	世界の生活文化の多様性や、防災、地球的課題への取り組みなど理解したか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	地理的事象を多面的・多角的に考察する力、地理的な課題の解決に向けて構想する力、考察・構想したことを説明したり、議論したりする力が身に付いたか。	定期考査 提出物 (ノート・課題等) の提出内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	地理的な課題を主体的に追究し解決しようとする態度や世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについて自覚したか。	提出物(ノート・課題等)の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>① 履修登録上の注意…全員履修しなければならない科目です。</p> <p>② 授業への臨み方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や資料に目を通して授業に臨む。</li> <li>・教科書や地図帳、資料集、ノート等を必ず持参して授業に臨む。</li> </ul> <p>③ 学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や資料集等を読み、授業内容を復習する。</li> <li>・疑問点や興味関心を持った点を調べる。</li> <li>・学習プリント等を有効に活用する。</li> </ul>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
地理歴史	日本史探究	I II III部	3年次	自由選択	3

学習目標	我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、多角的・多面的に考察し、地域や日本、世界の歴史との関わりを踏まえて、現代の諸課題を探究する。また、資料を活用して多角的・多面的に歴史を考察する力を身に付ける。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	第Ⅰ部 原始・古代（縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安の各時代） 第Ⅱ部 中世①（平安末）
	後半	第Ⅱ部 中世②（鎌倉・室町の各時代） 第Ⅲ部 近世①（安土桃山・江戸初期）
後期	前半	第Ⅲ部 近世②（江戸時代全般） 第Ⅳ部 近代・現代①（幕末・明治・大正の各時代）
	後半	第Ⅳ部 近代・現代②（昭和初期・戦後の各時代）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	我が国の歴史について、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に理解するとともに、諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能が身に付いたか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	歴史事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、様々なつながりに着目して多面的・多角的に考察したり、構想したりする力や構想・考察したことを表現できるか。	定期考査 提出物 （ノート・課題等） の提出内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	課題を主体的に探究しようとする態度や我が国の歴史に対する愛情と他国の文化を尊重することの大切さを自覚したか。	提出物（ノート・課題等）の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>①履修登録上の注意…「歴史総合」を履修済みであること</p> <p>②授業への臨み方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や資料等に目を通して授業に臨む。</li> <li>教科書や資料集、ノート等を必ず持参して授業に臨む。</li> </ul> <p>③学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書等を読み、歴史事象の因果関係を理解し、復習する。</li> <li>疑問点や興味関心を持った点を調べ、自分なりに歴史事象を考える。</li> <li>学習プリント等を有効に活用する。</li> </ul>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
地理歴史	世界史探究	I II部	3年次	自由選択	3

学習目標	地球の誕生や人類の誕生を視野に入れつつ、古代文明の成立から現代に至る世界の歴史の展開を扱い、諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容という大きな枠組みをもとに、世界の歴史を大きくとらえる。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	秦・漢と遊牧国家 唐と近隣諸国の動向
	後半	宋の社会とモンゴル帝国の拡大 明と東アジアの動向
後期	前半	西アジアと地中海周辺の諸国家 ローマ帝国とキリスト教
	後半	ヨーロッパ封建社会とその展開 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	世界の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	歴史事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、様々なつながりに着目して多面的・多角的に考察したり、構想したりする力や構想・考察したことを表現できるか。	定期考査 提出物 (ノート・課題等) の提出内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	課題を主体的に探究しようとする態度や日本国民としての自覚と我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さを自覚したか。	提出物(ノート・課題等)の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>① 履修登録上の注意…「歴史総合」を履修済みであること</p> <p>② 授業への臨み方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や資料等に目を通して授業に臨む。</li> <li>・教科書や資料集、ノート等を必ず持参して授業に臨む。</li> </ul> <p>③ 学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書等を読み、歴史事象の因果関係を理解し、復習する。</li> <li>・疑問点や興味関心を持った点を調べ、自分なりに歴史事象を考える。</li> <li>・学習プリント等を有効に活用する。</li> </ul>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
地理歴史	地理探究	I II部	4年次	自由選択	3

学習目標	社会事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みとそれらに関連付けて考察する技能を身に付け、現代社会の課題を探究したり解決したりする資質や能力を育成する。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	系統地理（自然，産業）
	後半	系統地理（交通，人口，生活文化）
後期	前半	地誌（地域区分，諸地域）
	後半	日本の国土像

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	地理的思考を活用し、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性、地域的特色や課題などを理解できたか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力と、地理的な課題について他者の意見を踏まえて構想できる力が身に付いたか。	定期考査 提出物 (ノート・課題等) の提出内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	地理的な課題を主体的に探究する態度や日本人としての自覚と我が国の国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについて自覚したか。	提出物(ノート・課題等)の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>① 履修登録上の注意…「地理総合」を履修済みであること</p> <p>② 授業への臨み方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や地図帳，資料集等に目を通して授業に臨む。</li> <li>・教科書や地図帳，資料集，ノート等を必ず持参して授業に臨む。</li> </ul> <p>③ 学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書，地図帳，資料集等を活用し，地理的なものの見方・考え方を理解する。</li> <li>・疑問点や興味関心を持った点を調べ，自分なりに地理的思考で考えてみる。</li> <li>・学習プリント等を有効に活用する。</li> </ul>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
公民	公共	I II III部	I 年次	必履修	2

学習目標	人間と社会の在り方について考察し、現代社会の諸課題について選択・判断するための手掛かりとなる概念を理解するとともに、公共的な場である国家及び社会の形成に積極的な役割を果たそうとする自覚を育む。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	公共の扉（社会で生きる，幸せな社会，公共的な空間）
	後半	よりよい社会の形成（法，政治）
後期	前半	よりよい社会の形成と参画（平和主義，経済）
	後半	よりよい社会の形成と参画（国際社会），持続可能な社会を創る

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	基本的知識を身につけたうえで、現代社会の諸課題について考察し、その影響について予測を立て、検証しようとしているか。また学習後に学習内容を振り返ることができている	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	客観的な資料や情報を収集・選択して、自ら判断し行動できているか。	定期考査 提出物（ノート・課題等）の提出内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会事象や問題点に関心を持ち、よりよい社会をつくるために学習に意欲的に取り組もうとしているか。	提出物（ノート・課題等）の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>① 履修登録上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員履修すること。</li> </ul> <p>② 授業への臨み方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やノートに目を通して授業に臨む。</li> <li>・教科書や図表・資料を必ず持参して授業に臨む。</li> </ul> <p>③ 学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書等を読み、授業内容を復習する。学習プリント等を有効に活用する。</li> <li>・疑問点や興味関心を持った点を調べる。</li> <li>・新聞やニュースをよく見て、授業内容に関連するものがないか確認する。</li> </ul>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
公民	政治・経済	I II III部	4年次	自由選択	3
学習目標	広い視野にたつて、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。				

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	A 現代日本における政治・経済の諸課題 (1) 現代日本の政治・経済
	後半	(2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究
後期	前半	B グローバル化する国際社会の諸課題 (1) 現代の国際政治・経済
	後半	(2) グローバル化する国際社会の諸課題の探究

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	現代の政治や経済の諸課題に対する関心と自分の生き方を関連させて考えているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	基礎的な知識を身につけ、現代の政治や経済の諸課題について多面的に考察できているか。	定期考査 提出物（ノート・課題等）の提出内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	自ら資料を収集しそれを読み取るなど、情報の有効な活用ができているか。	提出物（ノート・課題等）の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>① 履修登録上の注意（特になし）</p> <p>② 授業への臨み方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やノートに目を通して授業に臨む。</li> <li>・教科書や図表・資料を必ず持参して授業に臨む。</li> </ul> <p>③ 学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書等を読み、授業内容を復習する。学習プリント等を有効に活用する。</li> <li>・疑問点や興味関心を持った点を調べる。</li> <li>・新聞やニュースをよく見て、授業内容に関連するものがないか確認する。</li> </ul>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
数学	数学 I	I II III部	I 年次	必履修	4

学習目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟をはかり、事象を数学的に考察し、数学のよさを認識できるようにするとともにそれらを活用できるようにする。
------	--

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	式の展開と因数分解 実数
	後半	1次不等式 2次関数とそのグラフ
後期	前半	2次方程式・2次不等式 三角比
	後半	図形の計量 集合と論理 データの分析

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	不等式や関数，三角比などの基本的な意味や法則，用語などを理解し，身に付けているか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	数学的な見方や考え方を総合的・積極的に活用し，よりよく問題を解決することができるか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返り，考察を深めようとしているか。 数学のよさを認識し，積極的に活用しようとしているか。	提出物（課題）の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

- ・必履修科目なので必ず履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
数学	数学Ⅱ	I II部	2年次	自由選択	4

学習目標	数学Ⅰの知識を基本に、知識の習得と技能の習熟をはかり、数学的に処理する能力を育成する。
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	式と計算 等式・不等式の証明 複素数と方程式の解
	後半	高次方程式 点と直線 円の方程式 軌跡と領域
後期	前半	三角関数 三角関数の加法定理 指数関数
	後半	対数関数 微分係数と導関数 関数の値の変化 積分

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	方程式や平面座標，指数・対数・三角関数，微分積分法などの基本的な意味や法則，用語などを理解し，身に付けているか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	数学的な見方や考え方を総合的・積極的に活用し，よりよく問題を解決することができるか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返り，考察を深めようとしているか。 数学のよさを認識し，積極的に活用しようとしているか。	提出物（課題）の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学Ⅰ」の履修後に履修すること。</li> <li>・国公立大学・私立大学(理系)・医療看護系学校進学希望者は必ず履修すること。</li> </ul>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
数学	数学Ⅲ	I部	3年次	自由選択	4

学習目標	数学知識の習得と技能の習熟をはかり、数学的な見方を総合的にとらえさせ積極的に活用する態度を育成する。
------	--

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	関数 数列の極限 関数の極限
	後半	微分係数と導関数 いろいろな関数の導関数
後期	前半	関数値の変化 導関数の応用
	後半	不定積分 定積分 積分法の応用

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	関数と極限，さらに微分法や積分法などの基本的な意味や法則，用語などを理解し身に付けているか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	数学的な見方や考え方を総合的・積極的に活用し，よりよく問題を解決することができるか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返り，考察を深めようとしているか。 数学のよさを認識し，積極的に活用しようとしているか。	提出物（課題）の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

- ・「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」の履修後に履修すること。
- ・四年制大学進学希望者で、医・理・工学部系統希望のものは必ず履修すること。
- ・「数学B」「数学C」の内容も入るので、「数学B」「数学C」も履修することが望ましい。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
数学	数学A	I部	4年次	自由選択	2
		II部	2・4年次		
		III部	4年次		

学習目標	数学Iの知識を基本に、知識の習得と技能の習熟をはかる。
------	-----------------------------

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	数え上げの原則 順列・組合せ
	後半	確率の基本性質といろいろな確率
後期	前半	三角形の性質 円の性質
	後半	空間図形 数学と人間の活動

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	場合の数や確率、整数や図形の性質などの基本的な意味や法則、用語などを理解し、身に付けているか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	数学的な見方や考え方を総合的・積極的に活用し、よりよく問題を解決することができるか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返り、考察を深めようとしているか。 数学のよさを認識し、積極的に活用しようとしているか。	提出物（課題）の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

- ・ II部2年次で開講している「数学A」は3修の生徒が選択できます。
- ・ 「数学I」と並行あるいは履修後に履修すること。
- ・ 国公立大学・私立大学(理系)・医療看護系学校進学希望者は必ず履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
数学	数学B	Ⅱ部	3年次	自由選択	3

学習目標	数学Ⅰ・Ⅱの知識を基本に、知識の習得と技能の習熟をはかり、数学的に処理する能力を育成する。
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	等差数列と等比数列
	後半	いろいろな数列 漸化式と数学的帰納法
後期	前半	確率分布
	後半	統計処理 数学と社会生活

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	数列や統計的な推測についての基本的な意味や法則・用語などを理解し身につけているか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	数学的な見方や考え方を総合的・積極的に活用し、よりよく問題を解決することができるか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返り、考察を深めようとしているか。 数学のよさを認識し、積極的に活用しようとしているか。	提出物（課題）の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

- ・「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」を履修後に履修すること。
- ・「数学A」を履修してあることが望ましい。
- ・国公立大学・私立大学(理系)進学希望者は必ず履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
数学	数学C	I部	3年次	自由選択	3

学習目標	数学Ⅰ・Ⅱの知識を基本に、知識の習得と技能の習熟をはかり、数学的に処理する能力を育成する。
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	ベクトルとその演算 平面図形とベクトル
	後半	空間のベクトル 複素数平面
後期	前半	2次曲線 媒介変数表示と極座標
	後半	行列とその計算 離散グラフ 統計グラフと表現の工夫

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり数学的に解釈したり，表現・処理する技術を身につけているか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	数学的な見方や考え方を総合的・積極的に活用し，よりよく問題を解決することができるか。	定期考査 授業ノート 問題演習（問題集）	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返り，考察を深めようとしているか。 数学のよさを認識し，積極的に活用しようとしているか。	提出物（課題）の提出状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

- ・「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」を履修後に履修すること。
- ・国公立大学・私立大学(理系)進学希望者は必ず履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
理科	科学と人間生活	I II III部	I 年次	必履修	2

学習目標	<p>① 「自然と人間生活の関わり」及び「科学技術と人間生活との関わり」についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。</p> <p>③ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>
------	--

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	生命の科学（微生物とその利用 または ヒトの生命現象）
	後半	物質の科学（材料とその再利用 または 衣料と食品）
後期	前半	光や熱の科学（光の性質とその利用 または 熱の性質とその利用）
	後半	宇宙や地球の科学（太陽と地球 または 自然景観と自然災害）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	「自然と人間生活の関わり」及び「科学技術と人間生活との関わり」についての理解を深めたか。科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に考察し、表現しているか。	定期考査 実験レポートの記入内容 レポートの記入内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究し、科学に対する興味・関心を高めたか。	提出物（課題）の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

必履修科目なので全員履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
理科	物理基礎	I II部	2年次	選択必履修	2

学習目標	<p>① 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 観察、実験などを行い、科学的に探究する態度を養う。</p> <p>③ 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
------	--

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	ベクトルについて 速さと速度・加速度 加速度運動と移動距離 相対速度
	後半	いろいろな加速度運動 重力による運動 力の表し方 運動の3法則 運動方程式とその応用
後期	前半	仕事とエネルギー（仕事量の計算 力学的エネルギー保存の法則）
	後半	波と電気（波の性質と物理的な表現方法 電気現象 磁気現象 原子力と放射線）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めたか。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現しているか。	定期考査 実験レポートの記入内容 レポートの記入内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	提出物（課題）の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

次年度以降に「物理」を履修する予定の者は必ず履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
理科	化学基礎	I II部	2年次	選択必履修	2
		III部	3年次	必履修	3

学習目標	<p>① 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を養う。</p> <p>③ 物質とその変化に主体的に関わり、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p>
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	化学とは何か 物質の成分と構成元素 原子構造と元素の周期表
	後半	化学結合（イオン結合・共有結合・金属結合） 物質と化学反応式
後期	前半	酸と塩基（水素イオン濃度とpH・中和反応と塩の性質・中和滴定）
	後半	酸化還元反応（酸化と還元・酸化剤と還元剤・金属の酸化還元反応）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解しているか。科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	実験、観察などを通して探究し、科学的に考察し、表現しているか。	定期考査 実験レポートの記入内容 レポートの記入内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を的確に表現できるか。	提出物（課題）の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

次年度以降に「化学」を履修する予定の者は必ず履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
理科	生物基礎	I II部	2年次	選択必履修	2
		III部		必履修	3

学習目標	<p>① 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けているか。</p> <p>② 実験、観察などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>③ 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	生物の特徴 (生物の多様性と共通性 生物とエネルギー)
	後半	遺伝子とのはたらき (遺伝情報とDNA 遺伝情報とタンパク質)
後期	前半	ヒトの体の調節 (体内環境と情報伝達 免疫のはたらき)
	後半	生物の多様性と生態系 (植生と遷移 生態系と生物の多様性) 生物基礎と私たち

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象について理解しているか。科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	実験、観察などを通して探究し、科学的に考察し、表現しているか。	定期考査 実験レポートの記入内容 ワークシートの記入内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしているか。	提出物(課題)の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

次年度以降に「生物」を履修する予定の者は必ず履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
理科	物理	Ⅱ部	3年次	自由選択	4

学習目標	<p>①物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>②観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>③物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
------	--

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	剛体の力学 力積と運動量 運動量保存の法則
	後半	物体の衝突と跳ね返り 熱力学
後期	前半	円運動 単振動 万有引力の法則
	後半	波動現象(波の式 回折 干渉 音波 光の波) 電磁気学 原子物理学

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	物理学の基本的な概念や原理・原則の理解を深めたか。科学的に探究するために必要な実観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現しているか。	定期考査 実験レポートの記入内容 レポートの記入内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。	提出物(課題)の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>物理基礎を履修した後に履修すること。一般入試で大学受験をする者が、受験科目として必要な場合に選択する科目である。物理基礎の内容を十分に理解していることを前提としないと学習しきれないハイレベルな内容なので、注意して選択すること。</p>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
理科	化学	Ⅱ部	3年次	自由選択	4

学習目標	<p>① 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な実験、観察などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 実験、観察などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>③ 化学的な事物・現象に主体的に関わり、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p>
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	物質の状態 気体の性質 溶液の性質 固体の構造 化学反応と熱・光 電池と電気分解
	後半	化学反応の速さ 化学平衡 水溶液中の化学平衡
後期	前半	周期表と元素 非金属元素 典型金属元素 遷移元素の単体と化合物 金属イオンの分離と確認 有機化合物
	後半	天然高分子化合物 合成高分子化合物 化学が果たす役割

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めたか。科学的に探究するために必要な実験、観察などに関する基本的な技能を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	実験、観察などを通して探究し、科学的に考察し、表現しているか。	定期考査 実験レポートの記入内容 レポートの記入内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を的確に表現できるか。	提出物（課題）の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>化学基礎を履修した後に履修すること。一般入試で大学受験をする者が、受験科目として必要な場合に選択する科目である。化学基礎の内容を十分に理解していることを前提としないと学習しきれないハイレベルな内容なので、注意して選択すること。</p>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
理科	生物	Ⅱ部	3年次	自由選択	4

学習目標	<p>① 生物学の基本的な概念や原理・原則の理解を深め、科学的に探究するために必要な実験、観察などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 実験、観察などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>③ 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
------	--

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	生命の起源と細胞の進化 遺伝子の変化と進化のしくみ 生物の系統と進化 細胞と分子
	後半	生命現象とタンパク質 代謝 遺伝情報とその発現
後期	前半	発生と遺伝子発現 遺伝子を扱う技術 動物の反応 動物の行動
	後半	植物の成長と環境応答 個体群と生物群集 生態系

### 評価

評価の観点	評価の方法	霞城8C	
知識・技能	生物学の基本的な概念や原理・原則の理解を深めたか。科学的に探究するために必要な実験、観察などに関する基本的な技能を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	実験、観察などを通して探究し、科学的に考察し、表現しているか。	定期考査 実験レポートの記入内容 ワークシートの記入内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。	提出物(課題)の提出状況 振り返りシート 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>生物基礎を履修した後に履修すること。一般入試で大学受験をする者が、受験科目として必要な場合に選択する科目である。生物基礎の内容を十分に理解していることを前提としないと学習しきれないハイレベルな内容なので、注意して選択すること。</p>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
保健体育	体育①	I II III部	I年次	必履修	3

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身に付ける。
------	--

**授業計画及び具体的内容** 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	体づくり運動，球技Ⅰ（バドミントン）
	後半	球技Ⅱ（卓球），体育理論，ダンス
後期	前半	球技Ⅲ（バレーボール）
	後半	器械体操（マット運動），球技Ⅳ（バスケットボール）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	運動の楽しさや喜びを味わい，基本的な技能を身に付けることができるか。	教師観察・スキルテスト・定期テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	課題を発見し，合理的な解決に向けて思考・判断し，考えたことを他者に伝える事ができるか。	教師観察・ワークシート・発表	思考力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	公正・協力・責任・共生を大切にしようとし，健康・安全を確保し，最善を尽くそうとしているか。	教師観察・ワークシート	行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>必履修科目ですので、I年次生は必ず履修して下さい。</p> <p>学校指定の体育着を着用します。アリーナ用の内ズックを準備して下さい。</p> <p>授業参加者の人数や状態を踏まえて、授業計画を変更する場合があります。</p>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
保健体育	体育②	I II III部	2年次	必履修	2

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身に付ける。
------	--

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	体づくり運動，陸上競技（短）
	後半	球技選択Ⅰ（卓球・バドミントン），体育理論，ダンス
後期	前半	球技選択Ⅱ（バスケットボール・バレーボール）
	後半	器械体操（マット運動），球技選択Ⅲ（フットサル・卓球・バドミントン）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	運動の楽しさや喜びを味わい，運動・体力の必要性を理解し，基本的な技能を身に付ける事ができるか。	教師観察・スキルテスト・定期テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	課題を発見し，合理的な解決に向けて思考・判断し，考えたことを他者に伝える事ができるか。	教師観察・ワークシート・発表	思考力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	公正・協力・責任・共生を大切にしようとし，健康・安全を確保し，生涯にわたって運動に親しむ態度を身につけているか。	教師観察・ワークシート	行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>必履修科目ですので、2年次生は必ず履修して下さい。</p> <p>学校指定の体育着を着用します。アリーナ用の内ズックを準備して下さい。</p> <p>授業参加者の人数や状態を踏まえて、授業計画を変更する場合があります。</p>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
保健体育	体育③	I II III部	3年次	必履修	3

学習目標	自己の能力に応じて種目を選択し、グループ活動を通して自分やチームの課題を互いに解決することによってより高い技能を習得し、運動の楽しさや喜びを味わう。
------	--

**授業計画及び具体的内容** 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	体づくり運動，領域選択Ⅰ（陸上競技・器械体操）
	後半	球技選択Ⅰ（バドミントン・卓球），体育理論，ダンス
後期	前半	球技選択Ⅱ（バレーボール・バスケットボール）
	後半	球技選択Ⅲ（フットサル・ユニバーサルホッケー） 球技選択Ⅳ（バレーボール・バドミントン）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	運動の楽しさや喜びを味わい，運動・体力の必要性を理解し，基本的な技能を身に付ける事ができるか。	教師観察・スキルテスト・定期テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	課題を発見し，合理的な解決に向けて思考・判断し，考えたことを他者に伝える事ができるか。	教師観察・ワークシート・発表	思考力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	公正・協力・責任・共生を大切にしようとし，健康・安全を確保し，生涯にわたって運動に親しむ態度を身につけているか。	教師観察・ワークシート	行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>必履修科目ですので、3年次生は必ず履修して下さい。</p> <p>学校指定の体育着を着用します。アリーナ用の内ズックを準備して下さい。</p> <p>授業参加者の人数や状態を踏まえて、授業計画を変更する場合があります。</p>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
保健体育	体育④	I II III部	4年次	必履修	2

学習目標	自己の能力に応じて種目を選択し、その運動の特性を十分に味わいながら、生涯を通じて継続的に運動に親しむ態度や能力を身に付ける。
------	--

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	体づくり運動，領域選択Ⅰ（陸上競技・器械体操）
	後半	球技選択Ⅰ（バドミントン・卓球），体育理論
後期	前半	球技選択Ⅱ（バレーボール，テニス）
	後半	球技選択Ⅲ（フットサル・バスケットボール）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	健康や安全に配慮し、積極的に学習に取り組んでいるか。	教師観察・スキルテスト・定期テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	仲間と協力し、ルールや約束事などを守り、取り組んでいるか。	教師観察・ワークシート・発表	思考力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	技能や体力などの向上を目指して、意欲的に取り組んでいるか。	教師観察・ワークシート	行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>必履修科目ですので、4年次生は必ず履修して下さい。</p> <p>学校指定の体育着を着用します。アリーナ用の内ズックを準備して下さい。</p> <p>授業参加者の人数や状態を踏まえて、授業計画を変更する場合があります。</p>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
保健体育	保健①	I II III部	1年次	必履修	1

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善してくための資質能力を身に付ける。
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	現代社会と健康（健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復）
	後半	現代社会と健康（喫煙、飲酒、薬物乱用と健康）
後期	前半	現代社会と健康（精神疾患の予防と回復）
	後半	安全な社会生活（安全な社会づくり、応急手当）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けているか。	教師観察・スキルテスト・定期テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決において思考、判断し、目的や状況に応じて他者に伝える事ができるか。	教師観察・ワークシート・発表	思考力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進や、それを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営もうとしているか。	教師観察・ワークシート	行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

必履修科目ですので、全員履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
保健体育	保健②	I II III部	2年次	必履修	1

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善するための資質能力を身に付ける。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	生涯を通じる健康（生涯の各段階における健康）
	後半	生涯を通じる健康（労働と健康）、健康を支える環境づくり（環境・食品と健康）
後期	前半	健康を支える環境づくり（保健医療制度と機関）
	後半	課題学習

## 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けているか。	教師観察・スキルテスト・定期テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決において思考、判断し、目的や状況に応じて他者に伝える事ができるか。	教師観察・ワークシート・発表	思考力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進や、それを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営もうとしているか。	教師観察・ワークシート	行動力 自己管理能力 自立力

## 担当者からのアドバイス

必履修科目ですので、全員履修すること。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
芸術	音楽Ⅰ	I II III部	3年次	選択必履修	2

学習目標	音楽の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばします。
------	--

**授業計画及び具体的内容** 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	〔歌唱〕 クラスの声を響かせよう ドイツ歌曲、英語のライム 音の高さや長さの表現
	後半	〔器楽〕 ギター演奏、ボディーパーカッション 楽譜について
後期	前半	〔鑑賞〕 物語と音楽の関わり、郷土の音楽 拍子について
	後半	〔創作〕 言葉を生かして旋律作成 音楽史

## 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	音楽表現に必要な知識や技能を身につけているか。	実技の様子 ミニテスト レポート	読解力 傾聴力
思考・判断・表現	音楽の諸要素について考え、表現の意図を持ったり、味わって聴いたりしているか。	実技の様子 ミニテスト レポート	思考力 行動力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に、表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。	授業の出席状況 提出物の提出状況 授業の参加態度	自己管理能力 自立力

## 担当者からのアドバイス

<p>様々なタイプの実技を行います。どの活動にも積極的に取り組んで下さい。 ペアやグループ活動においては、仲間と協力して準備や練習をして下さい。 学習の成果を発表する機会として。霞城祭での合唱披露を予定しています。</p> <p>また、教材費として1,600円かかります。</p>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
芸術	音楽Ⅱ	I II III部	4年次	自由選択	2

学習目標	音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する深い心情を育てるとともに、より完成を高め、音楽文化について深く利解し、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばします。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	[歌唱] 声について 日本歌曲, 英語ポップス, 合唱
	後半	[器楽] アンサンブル, ギター, ミュージックベル
後期	前半	[鑑賞] 世界の音楽と踊りや楽器, 演奏家の表現
	後半	[創作] 変奏曲作成

#### 評価

評価の観点	評価の方法	霞城8C
知識・技能	音楽表現に必要な知識や技能を身につけているか。	実技の様子 ミニテスト レポート 読解力 傾聴力
思考・判断・表現	音楽の諸要素について考え、表現の意図を持ったり、味わって聴いたりしているか。	実技の様子 ミニテスト レポート 思考力 行動力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に、表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。	授業の出席状況 提出物の提出状況 授業の参加態度 自己管理力 自立力

#### 担当者からのアドバイス

<p>音楽Ⅰで学習したことを土台に「表現」を重視して行うので、自ら積極的に取り組んで下さい。創作活動においては作・編曲などにも取り組むので、楽典をしっかり復習して臨んで下さい。学習の成果を発表する機会として。霞城祭での合唱披露を予定しています。</p> <p>また、教材費として1,600円かかります。</p>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
芸術	美術 I	I II III部	3年次	選択必履修	2

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、想像的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めます。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	絵画について（絵画の様々な技法，美術史）
	後半	彫刻について（立体的に捉える方法，素材）
後期	前半	デザインについて（日常におけるデザインの基礎）
	後半	映像メディアについて（写真表現の基礎，アニメーションの基礎）

#### 評価

評価の観点	評価の方法	霞城8C
知識・技能	授業で身につけた知識を生かし，自らの表現を追求した作品づくりができたか。	作品 制作レポート 読解力 傾聴力
思考・判断・表現	作品の制作や鑑賞を通して創造的な工夫を凝らし，見方や感じ方を深めているか。	作品 制作レポート 思考力 行動力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	制作した作品や美術作品の鑑賞を通して，他者との違いや良さに気づき尊重できたか。	授業の出席状況 提出物の提出状況 授業の参加態度 自己管理力 自立力

#### 担当者からのアドバイス

<p>実技が中心になるので，用具の準備も含め，自らすすんで意欲的に取り組むこと。</p> <p>※<u>水彩用具(水彩絵の具，筆，パレット，筆洗など)は自分で準備すること。</u></p> <p><u>道具を準備できないときは履修できない。</u></p> <p>※教材費として1,600円かかります。</p>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
芸術	美術Ⅱ	I II III部	4年次	自由選択	2

学習目標	美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めます。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	絵画について（美術史と絵画の伝統的技法について）
	後半	彫刻について（立体を捉える方法と素材について）
後期	前半	デザインについて（日常におけるデザインと基礎）
	後半	映像メディアについて（現代の映像表現と使用について）

#### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	授業で触れてきた様々な素材の特性を理解し、自己のイメージと相称を考察し、自らの表現を追求した作品作りができたか。	作品 制作レポート	読解力 傾聴力
思考・判断・表現	自らの思考をさらに深め、作品の制作や鑑賞を通じて創造的な工夫を凝らし、高度な見方や感じ方を獲得できているか。	作品 制作レポート	思考力 行動力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	制作した作品や美術作品の鑑賞を通して、他者との違いや良さに気づき尊重できたか。	授業の出席状況 提出物の提出状況 授業の参加態度	自己管理力 自立力

#### 担当者からのアドバイス

<p>実技が中心になるので、用具の準備も含め、自らすすんで意欲的に取り組むこと。</p> <p>※水彩用具(水彩絵の具、筆、パレット、筆洗など)は自分で準備すること。</p> <p>道具を準備できないときは履修できない。</p> <p>※教材費として1,600円かかります。</p>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
芸術	書道 I	I II III部	3年次	選択必履修	2

学習目標	様々な書表現があることを学び、表現することの豊かさを幅広く体感することが書道の目標です。
------	--

**授業計画及び具体的内容** 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	書写から書道へ 漢字の書（楷書）（初唐の三大家，北魏の造像記）
	後半	漢字の書（行書）（蘭亭序） 漢字の書（創作）（漢字1字）
後期	前半	篆刻（姓名印） 漢字仮名交じりの書（好きな言葉を書く）
	後半	仮名の書（平安古筆，短冊） 生活の中の書（実用書道）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	書表現についての理解を深め、表現のための技能を身につけることができたか。	作品 制作レポート	読解力 傾聴力
思考・判断・表現	古典それぞれの特徴を理解し、表現するための知識や技能を得たり生かしたりしながら、創造的構想・工夫をすることができたか。	作品 制作レポート	思考力 行動力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	主体的に諸活動に取り組むことができたか。また、書の伝統と文化に親しむことができたか。	授業の出席状況 提出物の提出状況 授業の参加態度	自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>※書道用具(墨汁，筆)は各自で購入しますが、年度当初の授業で説明を聞いてから準備してください。</p> <p>※教材費として1,600円かかります。作品制作に必要な用具・用材を購入します。</p> <p>授業内容は実技が中心です。定期考査は実施しません。主に提出物と出席状況が評価されます。</p>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
芸術	書道Ⅱ	I II III部	4年次	自由選択	2

学習目標	書道の諸活動を通して、様々な書表現を味わい、個性豊かな表現活動ができるようになることが目標です。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	漢字の書（楷書）（特徴のある楷書） 漢字の書（隸書）（乙瑛碑）
	後半	漢字の書（篆書）（石鼓文） 漢字の書（草書）（十七帖） 漢字の書（額装作品）（半切1/3にまとめる）
後期	前半	篆刻（摸刻） 漢字仮名交じりの書（好きな言葉を書く）
	後半	仮名の書（平安古筆，散らし書き） 生活の中の書（実用書道）

## 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	書表現についての理解を深め、書道の諸活動にじっくり取り組んでいるか。	作品 制作レポート	読解力 傾聴力
思考・判断・表現	作品制作や鑑賞を通して、効果的に表現するためのより広い視野と考え方をもち、自己表現につなげられる知識や技能を獲得できたか。	作品 制作レポート	思考力 行動力 表現力 自己肯定力
主体的に学習に取り組む態度	作品制作や鑑賞において、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫して、自己表現の幅を広げることができたか。	授業の出席状況 提出物の提出状況 授業の参加態度	自己管理力 自立力

## 担当者からのアドバイス

<p>※書道用具(墨汁，筆)は各自で準備してください。</p> <p>※教材費として1,600円かかります。作品制作に必要な用具・用材を購入します。</p> <p>授業内容は実技が中心です。定期考査は実施しません。主に提出物と出席状況が評価されます。</p>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
外国語	英語コミュニケーションⅠ	ⅠⅡⅢ部	Ⅰ年次	必履修	4

学習目標	英語による言語活動を通して情報や考えなどを、的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目標とする。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	Warm-up Ⅰ（アルファベット）～ Lesson Ⅰ（過去形）
	後半	Lesson 2（進行形）～ Lesson 4（to不定詞）
後期	前半	Lesson 5（動名詞）～ Lesson 7（比較表現）
	後半	Lesson 8（現在完了形）～ Lesson 10（関係代名詞）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、その知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことなどによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけているか。	定期考査 小テスト 音読テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしているか。	定期考査 パフォーマンステスト	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	授業への出席・参加状況 提出物（課題）の提出状況	自己肯定力 行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

必履修科目なので、必ず履修すること。
--------------------

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
外国語	英語コミュニケーションⅡ	I Ⅱ部 Ⅲ部	2年次 3年次	自由選択	4

学習目標	英語による言語活動を通して情報や考えなどを、的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目標とする。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	Pre-Lesson（基礎の復習）～ Lesson 1（関係代名詞 what）
	後半	Lesson 2（比較表現）～ Lesson 4（間接疑問文）
後期	前半	Lesson 5（to不定詞を含む表現）～ Lesson 7（関係副詞）
	後半	Lesson 8（知覚動詞）～ Lesson 10（分詞構文）

#### 評価

評価の観点	評価の方法	霞城8C	
知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、その知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことなどによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけているか。	定期考査 小テスト 音読テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしているか。	定期考査 パフォーマンステスト	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	授業への出席・参加状況 提出物（課題）の提出状況	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

#### 担当者からのアドバイス

英語コミュニケーションⅠの後に履修すること。
------------------------

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
外国語	英語コミュニケーションⅢ	I部	3年次	自由選択	4

学習目標	英語による言語活動を通して情報や考えなどを、的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目標とする。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	Lesson 1 (to不定詞/動名詞) ~ Lesson 2 (現在完了形)
	後半	Lesson 3 (使役動詞) ~ Lesson 5 (関係代名詞)
後期	前半	Lesson 6 (関係代名詞) ~ Lesson 8 (名詞を後ろから説明する分詞)
	後半	Lesson 9 (仮定法過去) ~ Lesson 10 (関係代名詞)

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、その知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことなどによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけているか。	定期考査 小テスト 音読テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしているか。	定期考査 パフォーマンステスト	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	授業への出席・参加状況 提出物(課題)の提出状況	自己肯定力 行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

英語コミュニケーションⅡの後に履修すること。
------------------------

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
外国語	論理・表現 I	I II部 III部	2年次 4年次	自由選択	2

学習目標	日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、読んだり聞いたりしたことから、必要な情報を得たり伝えたりすることができる。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	Pre-Lesson（基礎の復習）～ Lesson 2（過去形）
	後半	Lesson 3（進行形）～ Lesson 8（現在完了形②）
後期	前半	Lesson 9（受動態）～ Lesson 14（to不定詞②）
	後半	Lesson 15（分詞）～ Lesson 20（接続詞）

## 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	基本的な文法事項を理解したうえで身の回りの様々なことについて伝えたり、書いたりする技能を身につけているか。	定期考査 小テスト 音読テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	聞いたり読んだりして得た情報を活用しながら、自分の感想や意見などを整理して分かりやすい英語で伝えているか。	定期考査 パフォーマンステスト	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて表現しようとしているか。	授業への出席・参加状況 提出物（課題）の提出状況	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

## 担当者からのアドバイス

その他の科目と並行履修が可能である（論理・表現Ⅱを除く）。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
外国語	論理・表現Ⅱ	IⅡ部	3年次	自由選択	3

学習目標	日常的・社会的な話題について、使用する語句や分、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、他用な語句や文を用いて、読んだり聞いたりしたことから、必要な情報を得たり伝えたりすることができる。
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	Lesson 1 (現在形) ~ Lesson 4 (未来を表す表現)
	後半	Lesson 5 (助動詞①) ~ Lesson 10 (比較①)
後期	前半	Lesson 11 (比較②) ~ Lesson 16 (関係代名詞①)
	後半	Lesson 17 (関係代名詞②) ~ Lesson 20 (接続詞), 文法のまとめ

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	基本的な文法事項を理解したうえで身の回りの様々なことについて伝えたり、書いたりする技能を身につけているか。	定期考査 小テスト 音読テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	聞いたり読んだりして得た情報を活用しながら、自分の感想や意見などを整理して分かりやすい英語で伝えているか。	定期考査 パフォーマンステスト	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて表現しようとしているか。	授業への出席・参加状況 提出物(課題)の提出状況	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

論理・表現Ⅰの後に履修すること。
------------------

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
家庭	家庭総合①	I II III部	2年次	必履修	2

学習目標	<p>自分の生き方を主体的に営むため、人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境について学習します。また文化を伝承し、自分・家庭・地域の生活の充実向上を目指します。よりよい社会に向けて、様々な人と協働し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する力を身に付けます。</p> <p>家庭や地域及び社会の中から問題を見つけ、解決策を考え、実践・評価し、考察します。生活の質を高めつつ、豊かな生活を楽しむことができるよう実践的に学習します。</p>
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	これからの人生について考えよう 自分らしい生き方と家族
	後半	子供とかかわる 高齢者とかかわる
後期	前半	社会とかかわる 住生活を作る 消費行動を考える
	後半	経済的に自立する

## 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、住生活、消費生活・環境について、生活を主体的に営む知識と技能を身に付けたか。	筆記試験など	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	生活の中から問題を見つけて課題設定をし、解決策を考えて実践・評価・考察したことを表現できたか。	レポート・論述・話し合い・作品・発表など	思考力 表現力 自立力
主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習できたか。文化を伝承し自分・家庭・地域の生活の充実向上を目指す態度、地域社会に参画しようとする態度、様々な人と協働する態度が養われたか。	ノートやプリント・記述・発言・授業にのぞむ態度など	行動力 自己肯定力 自己管理能力

## 担当者からのアドバイス

- ・必履修科目なので全員履修すること。家庭総合②と合わせて4単位の科目です。
- ・家庭総合を履修した後でない、フードデザイン・保育基礎を履修できません。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
家庭	家庭総合②	I II III部	3年次	必履修	2

学習目標	<p>一人の生活者として、生涯を見通し自立した生活を主体的に営むために、科学的な理解し技能を身に付けます。</p> <p>食生活と衣生活を中心とした学習内容です。食生活では、栄養素の種類とはたらし、食事摂取基準、食品の特質について学習しながら調理実習を行います。よりよい食生活ができるよう基本的なことを学習します。衣生活では、日常着用している衣服の素材のこと、手入れのことを学習し、簡単な被服製作を行います。授業は2時間連続での授業を計画しています。生活の質を高めつつ、豊かな生活を楽しむことができるよう実践的に学習します。</p>
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	衣生活を作る 人と衣服のかかわり 衣服の素材の種類と特徴 衣服の選択から管理まで
	後半	衣服を作ろう 持続可能な衣生活を作る 私たちがつなぐ衣生活の文化
後期	前半	食生活を作る 人と食物のかかわり 私たちの食生活 食事の計画と調理 調理実習
	後半	栄養と食品のかかわり 食品の選び方と安全 これからの食生活を考える

### 評価

評価の観点	評価の方法	霞城8C
知識・技能	人間の発達と生活の営みとのかかわり、家族・家庭生活の意義について、実際の生活と結びつけて理解できたか。また家庭生活に関する基礎的・基本的な技能を身につけたか。	筆記試験など  傾聴力 読解力
思考・判断・表現	家庭や地域の生活について関心をもち、課題を見つけ、その解決を目指し、論理的に考え表現できたか。	レポート・論述・話し合い・作品・発表など  思考力 表現力 自立力
主体的に学習に取り組む態度	自分や家庭・地域の生活の充実向上を目指し、実践しようとしているか。	ノートやプリント・記述・発言・授業にのぞむ態度など  行動力 自己肯定力 自己管理能力

### 担当者からのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・必履修科目なので全員履修すること。家庭総合①と合わせて4単位の科目です。</li> <li>・家庭総合を履修した後でない、フードデザイン・保育基礎を履修できません。</li> <li>・考査、話し合いや発表、作品の制作や表現、ノートやプリントの記述・管理、授業への参加態度にしっかり取り組むことが大切です。</li> </ul>
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
家庭	保育基礎	ⅡⅢ部	4年次	自由選択	3

学習目標	乳幼児期が人間形成において大切な時期であることを理解し、乳幼児の発達の特徴、健康管理と事故予防・生活習慣・食事など保育全般について学習します。保育人形を使っての沐浴実習や、おもちゃや絵本の製作を予定しています。
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	子どもの保育 子どもの発達
	後半	子どもの生活 ・子どもの健康と生活      ・子どもの衣服と寝具
後期	前半	子どもの生活 ・子どもの食事      ・子どもの健康と安全      ・子どもの文化
	後半	子どもの福祉

### 評価

評価の観点	評価の方法	霞城8C
知識・技能	子どもの健全な成長に関心をもち、子どもにかかわろうとする意欲を持つことができたか。	定期考査 作品 傾聴力 読解力
思考・判断・表現	人間発達の中において乳幼児期の重要性について理解することができたか。	学習プリント 発表 話し合い 作品 定期考査 思考力 表現力 自立力
主体的に学習に取り組む態度	乳幼児の発達の特徴、子どもの生活と遊びなどに関することを理解し、体験的な学習に積極的に参加することができたか。	実習・授業参加 学習プリント 行動力 自己肯定力 自己管理能力

### 担当者からのアドバイス

- ・家庭総合を履修した後でないで、子どもの発達と保育を履修できないので注意が必要です。
- ・実習費が1,000円程度かかります。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
家庭	フードデザイン	I部	4年次	自由選択	3

学習目標	日常や災害時など実際の食事計画や調理に役立つように、実習を多く取り入れていきます。知識と技術を活用し、食生活の充実向上を目指し、課題研究・発表を行います。
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	健康と食生活	栄養素と食品		
	後半	栄養素と食品	食品の選択と取り扱い	調理してみよう	実験・実習
後期	前半	各国料理とコーディネート	実験・実習		
	後半	各国料理とコーディネート	食育と食育推進活動		実験・実習

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	栄養・食品・献立・調理などに関する知識と技術を身につけたか。	定期考査 作品	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	食事について関心をもち、その意義と役割について理解するとともに、食生活の現状などから課題を発見し、食生活の充実向上に向けて考察し、解決におけ工夫したか。	学習プリント 発表 話し合い 作品 定期考査	思考力 表現力 自立力
主体的に学習に取り組む態度	食生活の充実向上を目指し、自ら学び主体的に取り組んだか。	実習・授業参加 学習プリント	行動力 自己肯定力 自己管理能力

### 担当者からのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭総合を履修した後でない、フードデザインを履修できないので注意が必要です。</li> <li>・実習費が1,000円程度かかります。</li> <li>・考査、レポートの作成、話し合いや発表、作品の制作や表現、ノートやプリントの記述・管理、授業への参加態度にしっかり取り組むことが大切です。</li> </ul>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
情報	情報 I	I II III部	2年次	必履修	2

学習目標	情報の特徴と社会に及ぼす影響を理解し、情報機器やネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現し、効果的にコミュニケーションを行うことができるようになること。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	情報社会と問題解決（情報とメディア・情報技術が社会に及ぼす影響）
	後半	コミュニケーションと情報デザイン（プレゼンテーション）
後期	前半	コンピュータとプログラミング（ハードウェア・ソフトウェア・アルゴリズム）
	後半	情報通信ネットワークとデータ活用（コンピュータによる通信）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	問題解決の視点や情報リテラシーが身についたか。OSアプリケーションの基本操作ができるようになったか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	情報社会のルールとマナーを身に付けることができたか。	定期考査 提出物の内容 実習課題の内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関りについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用できたか。	提出物の提出状況 課題等の取組状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>情報処理実習室でのコンピュータ実習が中心の授業となります。</p> <p>ワード・エクセルの基本的な技術の習得と問題解決するための手順（アルゴリズム）が身につくよう学んでいきます。</p>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
情報	情報の表現と管理	Ⅱ部	4年次	自由選択	2

学習目標	文字・画像・映像・音声などの特色や活用方法を学び、コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎的・基本的な知識と技術を習得すると共に情報を管理し活用する能力と態度を身に付ける。
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	情報活用とメディア（メディアの種類と特性・コミュニケーションの基礎）
	後半	情報の表現①（文書・図解・音・画像による表現）
後期	前半	情報の表現②（プレゼンテーション・情報発信）
	後半	情報の管理（ドキュメンテーション・情報の管理と活用）

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解できたか。情報に関する基礎的・基本的な技術を身に付けたか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	状況に応じたコミュニケーション手段を選択することができたか。用途に応じた図解を選択することができたか。	定期考査 提出物の内容 実習課題の内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	プレゼンテーションの意義と活用例を理解し、プレゼンテーション作成の前提となる情報収集に積極的にかかわることができたか。	提出物の提出状況 課題等の取組状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>情報処理実習室でのコンピュータ実習が中心の授業です。 皆さん一人一人の工夫を凝らしたプレゼンテーションを期待しています。</p>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
商業	ビジネス基礎	Ⅱ部	2年次	自由選択	2
		Ⅲ部			3

学習目標	<p>(1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>(2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	ビジネスの役割と社会的責任
	後半	経済と流通の基礎
後期	前半	さまざまなビジネス 企業活動の基礎
	後半	身近な地域の企業（企業研究） 売買取引

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	ビジネスの基礎的な知識と技能を身に付け、ビジネスの意義や役割が理解できたか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を的確に把握し、考察を深め判断し解決しようとしているか。	定期考査 提出物・課題の内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動に関心を持ち、経済社会の一員として意欲的また協働的に問題の探究に取り組もうとしているか。	提出物の提出状況 課題等の取組状況 授業の参加状況 取組態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

私たちの生活が豊かで便利になっているのはビジネスの世界があるからです。生活の向上に役立つ身近な経済活動に目を向けながら学んでいきましょう。
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
商業	課題研究	Ⅲ部	4年次	自由選択	3

学習目標	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化を図るとともに、問題解決の能力や自発的な学習態度を育てる。
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	調査・研究・実験①（地域に関する課題を設定し調査活動）
	後半	調査・研究・実験②（地域に関する課題を設定し調査活動）
後期	前半	調査・研究・実験③（地域に関する課題を設定し調査活動）
	後半	研究結果をまとめ、発表・報告する。

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	ビジネスに関する課題を発見し、課題に関連する情報を収集する技術を身に付けるとともに、知識を深めることができたか。	提出物・課題（レポート）の内容	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し、それを踏まえた科学的な根拠に基づいて、調査計画を立案し創造的に解決することができたか。また、創意工夫を凝らし表現、発表することができたか。	提出物・課題（レポート）の内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	自ら課題を解決する力の向上を目指して意欲的に学んでいるか。また、ビジネスの創造と発展に主体的にかつ協働的に取り組む態度を養おうとしているか。	提出物の提出状況 課題（レポート）等の取組状況 授業の参加状況 取組態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

地域経済に関する課題を自ら設定し、自ら進んで学習する科目です。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
商業	ビジネス・コミュニケーション	Ⅱ部	2年次	自由選択	2

学習目標	<p>(1) ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>(2) ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して、自ら学び、ビジネスにおいて主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。</p>
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	企業の組織と人間関係	仕事に対する心構え	信頼関係の構築
	後半	応対に関するビジネスマナー（その1）	プレゼン演習（伝え方）	
後期	前半	応対に関するビジネスマナー（その2）	交際に関するビジネスマナー	
	後半	コミュニケーションとビジネススキル	ビジネス文書と電子メール	

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	実際のビジネスにおけるコミュニケーションと関連づけ、様々な場面で役立つコミュニケーションの知識・技能を身に付けることができたか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	ビジネスにおけるコミュニケーションの課題を発見し、成功事例や改善を要する事例などについて科学的な根拠に基づいて考え、解決しようとしているか。	定期考査 提出物・課題の内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	自らコミュニケーションについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者意識をもち、他者との信頼関係を構築していこうとする態度があるか。	提出物の提出状況 課題等の取組状況 授業の参加状況 取組態度	自己肯定力 行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

ビジネスおよび社会人としてのマナーやコミュニケーションについて理解すると共に、適宜ロールプレイング等を交えながら実践的・体験的に学習し、今後有用となる資質・能力を身に付けることを目指します。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
商業	マーケティング	Ⅲ部	4年次	自由選択	3

学習目標	<p>(1) マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>(2) マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	消費者行動の理解
	後半	市場調査 製品政策
後期	前半	価格政策 チャンネル政策 プロモーション政策
	後半	マーケティングのひろがり

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	企業における事例など実際のマーケティングと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、マーケティングに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えているか。	定期考査 提出物・課題（レポート）の内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指し、自らマーケティングについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもって取り組んでいるか。	提出物の提出状況 課題（レポート）等の取組状況 授業の参加状況・取組態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

企業の経済的な諸活動について、普段から、ニュース、新聞、広告などを注目して欲しい。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
商業	簿記	Ⅱ部	3年次	自由選択	4
		Ⅲ部			3

学習目標	<p>(1) 簿記の仕組みを理解することができる。</p> <p>(2) 複式簿記の基礎的な知識・技術を身に付け、適正な会計処理を行うことができる。</p> <p>(3) ビジネス活動を把握し、適切に仕事ができる能力と態度を身に付ける。</p>
------	--

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	簿記の基礎 貸借対照表 損益計算書 取引と勘定 仕訳と転記
	後半	仕訳帳と総勘定元帳 試算表 精算表 決算
後期	前半	取引の記帳 商品売買の記帳 掛け取引 その他の債権債務 固定資産の取引
	後半	決算整理 8桁精算表 帳簿決算 財務諸表の作成 会計帳簿と帳簿組織

#### 評価

評価の観点	評価の方法	霞城8C	
知識・技能	簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、その仕組みについて学習するとともに、適正な会計処理を行う技術を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	様々な処理方法や記帳方法について、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫ができるか。	定期考査 提出物・課題の内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことを目指して意欲的に取り組むことができるか。	提出物の提出状況 授業の参加状況・取組態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

#### 担当者からのアドバイス

<p>記帳練習が主な学習活動です。全商簿記実務検定試験3級に挑戦することも可能なので、ぜひ資格を取得してください。</p>
---

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
商業	情報処理 情報処理①	I II部 III部	3年次	自由選択	3 4

学習目標	ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を身に付け、適切に仕事ができる能力と態度を身に付ける。
------	---

授業計画及び具体的内容 計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	情報の活用と情報モラル・情報通信ネットワークとセキュリティ管理
	後半	ビジネス情報の処理と分析
後期	前半	ビジネス文書の作成
	後半	プレゼンテーション

#### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、適切な根拠に基づいて解決しようとしているか。	定期考査 提出物・課題（レポート）の内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	企業活動の向上を目指し自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的に取り組もうとしているか。	提出物の提出状況 課題（レポート）等の取組状況 授業の参加状況・取組態度	自己肯定力 行動力 自己管理能力 自立力

#### 担当者からのアドバイス

パーソナルコンピュータでビジネスに関わるソフトウェアの技術操作を学び、全商情報処理検定試験や全商ビジネス文書実務検定試験に挑戦できます。
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
商業	情報処理②	I部	4年次	自由選択	2

学習目標	情報を適切に表現し活用する知識・技術を身につけ、社会の課題を発見し解決に導くための方法を主体的に考える能力と態度を身につける。
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合がある。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	コンピュータシステムと情報通信ネットワーク
	後半	情報の集計と分析
後期	前半	情報の表現
	後半	情報の活用

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	現代社会における情報及び情報産業の意義や役割が理解できたか。情報分析・表現するための基礎的・応用的な技術を身に付けたか。	定期考査 小テスト	傾聴力 読解力
思考・判断・表現	情報を分析・表現・活用するための適切な判断ができたか。また、相手にわかりやすく伝える工夫ができたか。	定期考査 提出物の内容 実習課題の内容	思考力 表現力
主体的に学習に取り組む態度	社会課題の解決に情報を活用する視点を持ちながら、情報の分析・表現・活用に情報技術を主体的に活用できたか。	提出物の提出状況 課題等の取組状況 授業参加状況・態度	自己肯定力 行動力 自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

情報実習室でのコンピュータ実習が中心の授業となります。それぞれが主体的に取り組み、情報を分析するための知識・技術が身につくことを期待します。
--

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
総合的な探究の時間		I II III部	1～4年次	必履修	3～4

学習目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会に関わる総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら個性を生かし、意欲的に課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指します。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>
------	---

### 授業計画及び具体的内容

計画は予定であり、変更する場合があります。詳細は4月に教科担当者が授業で連絡する。

前期	前半	課題の設定 情報の収集
	後半	整理・分析 まとめ・表現 中間発表会
後期	前半	課題の設定 情報の収集
	後半	整理・分析 まとめ・表現 発表会

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解しているか。	課題の設定 情報の収集 振り返りシート テキストの取り組み	自己肯定力 傾聴力 読解力
思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現をしているか。	整理・分析 まとめ・表現 発表成果物 振り返りシート	思考力 表現力 行動力
主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしているか。	発表成果物 自己評価 相互評価 振り返りシート	自己管理力 自立力

### 担当者からのアドバイス

年間予定表に従い、1回につき2コマまたは3コマ、4コマのまとめ取りで行います。  
必履修ですので、全員が年間予定表を確認の上、休まず出席しましょう。

教科名	科目名	開講部	年次	履修区分	単位数
特別活動		I II III部	1～4年次	必履修	

学習目標	<p>① 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>② 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができようにする。</p> <p>③ 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p> <p>④ 必要な資質・能力として人間関係形成は、自己肯定力・傾聴力・表現力。社会参画は、行動力・思考力。自己実現は、自立力・自己管理能力・読解力を育成する。</p>
------	--

### 評価

評価の観点		評価の方法	霞城8C
知識・技能	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、正しい行動を身に付けることができたか。	各活動・学校行事ごとの指導と評価の計画による	自己肯定力 傾聴力 読解力
思考・判断・表現	様々な集団や自己の生活の充実、人間関係の課題を見つけ、解決方法を話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるか。	各活動・学校行事ごとの指導と評価の計画による	思考力 表現力 行動力
主体的に学習に取り組む態度	集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、人間関係をよりよく形成することができるか。人としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしているか。	各活動・学校行事ごとの指導と評価の計画による	自己管理能力 自立力

### 担当者からのアドバイス

<p>ホームルーム活動は週に1単位時間ずつ行います。生徒会活動や学校行事など、学校生活において大切な活動になります。休まず出席しましょう。</p>
---